



# こおりやま 市議会だより



第155号  
発行日 平成23年2月1日

発行：郡山市議会 編集：こおりやま市議会だより編集委員会  
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号 ☎ 024(924)2531 FAX 024(938)2810  
郡山市ウェブサイト <http://www.city.koriyama.fukushima.jp/>



東部地域子育て支援センター



郡山市イメージキャラクター  
「がくとくん」



子育てサロン



## 12月定例会



定例会のあらまし、議会の流れについて .....	2頁
各常任委員会の審査状況 .....	3頁
市政一般質問の内容 .....	4頁～12頁
会議録をご覧になる方へ .....	12頁
議会の豆知識 .....	2・6・12・13頁
常任委員会行政調査レポート、傍聴案内について .....	13頁
請願書・陳情書の提出方法について .....	14頁
ウェブサイトのお知らせ、インターネット議会中継について .....	15頁
請願・意見書採決結果、3月定例会開催予定 .....	16頁

# 平成22年12月定例会

緊急経済・雇用対策に要する経費を含む補正予算など  
議案59件を可決

## 定例会のあらまし

12月定例会は、12月1日から12月15日までの15日間にわたり開催されました。

初日には、会期の決定、諸般の報告のほか、市長が提案理由説明の中で、市政運営や提出議案の概要について述べました。

6日から9日までの市政一般質問では、16人の議員が質問を行いました。

10日と13日は、4つの常任委員会において、付託された議案55件と請願11件を慎重に審査しました。

最終日の本会議では、各常任委員会から付託された案件の審査結果報告を受けました。

採決の結果、国民健康保険特別会計補正予算など議案53件及び議案2件を全会一致で、一般会計補正予算など議案2件及び議案2件を賛成多数で可決、PPP交渉参加反対に関する請願など請願3件を全会一致で採択、大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願1件を賛成多数で採択、肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する請願1件を賛成多数で一部採択、患者の窓口負担大幅軽

減を求める請願など請願5件を賛成少数で不採択、子宮頸がん・ヒブ・七価3種の予防ワクチン接種の助成を求める請願1件を継続審査とし、全日程を終了しました。



## 議会の豆知識①

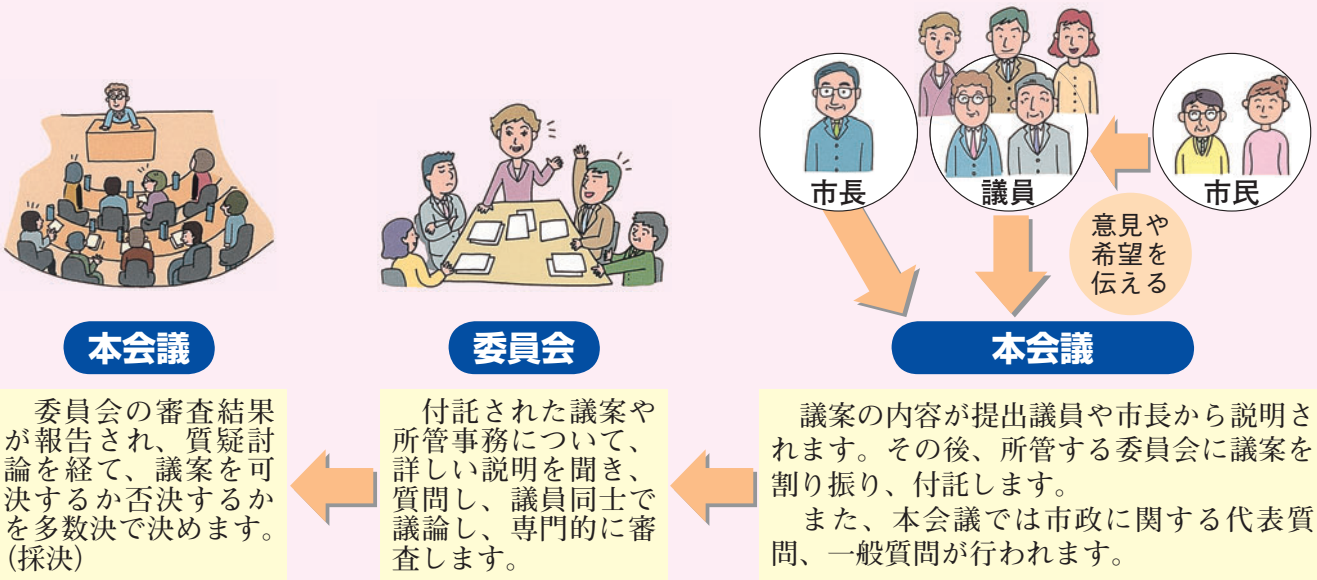
### ●議決とは

議会で、議案などに対する可否（賛否）を決定すること、意思決定の内容により、次のような種類があります。

- ・可決（否決）
- ・「予算、条例、契約、意見書、決議、その他」に関する議案
- ・認定（不認定）
- ・「決算」に関する議案
- ・承認（不承認）
- ・「専決処分」に関する議案
- ・同意（不同意）
- ・「人事案件」に関すること
- ・採択（不採択）
- ・「請願」に関すること

## 議会の流れについて

市議会には、年4回開催することが決まっている定例会と、必要に応じて開催する臨時会があります。大きくは下記のような流れになっています。



# 各常任委員会の審査状況

12月10日、13日に各常任委員会が開かれ、付託された議案等の審査が行われました。

審査内容の中から主なものをお知らせします。



## 総務財政

**問** 法定外公共物の所管と売却について。

**答** 国から譲与を受けた際、都市計画区域内は道路維持課、それ以外は農地林務課で所管する。売却は、管財課へ移管し行う。

**問** 自転車対策事業における、業務委託契約の内容と件数は、

**答** 郡山駅周辺の「駐輪場管理業務」及び「放置自転車撤去・保管業務」であり、契約件数は9件である。

**問** 郡山市男女共同参画センターにおける3年間の評価と今後の考え方は。

**答** 市民サービス向上の観点から、土・日、祝日も申請を受け付けたことや、定期清掃を休館日に実施したこと、さらに、講座やイベント開催時には、可能な限り託児を設けたことなどにより、利用者が増加しており、市民の皆様からも「ほぼ満足している」との評価をいただいている。

一方、指定管理者の職員体制については、十分でなかった面もあることから、平成23年度からは職員体制も含めて充実を図っていく。



## 建設水道

**問** 道路区画線工事と視線誘導標設置工事の事業効果は。

**答** 新年度に向けて早期に整備を行うことで、交通事故の防止や新入学の児童生徒の通学時の安全性を高めること、また、経済・雇用対策としても一定の効果があるものと考えている。

**問** 郡山駅前一丁目第二地区市街地再開発事業補助金について、事業の休止によって既に交付された補助金ほどのような取り扱いになるのか。

**答** 国・県と協議をすすめているが事業の休止であることから現時点では返還を求められていない。



## 環境経済

**問** 緊急経済対策事業として環境保全施設修繕の2事業が計上されている理由は。

**答** 大気汚染常時監視局を囲むフェンスの破損、気象計発信器取付架台の老朽化による発信器落下を防止するために、早急に修繕する必要があると判断し計上した。

**問** 雇用情勢の現状把握と事業への反映について。

**答** 郡山市商工振興連絡協議会で中小企業経営動向調査、市内の中小企業者及び求職者1千名を対象としたアンケート調査を実施して状況把握に努め、調査結果を分析し事業に反映していく。

**問** 郡山市米価下落等影響緩和緊急対策資金利子補給事業の創出に至った経緯は。

**答** 今年度は米価の下落幅が大きく、営農再生のための資金調達が困難になるなど、農家の経営環境が厳しくなると思われるので、国の施策である戸別所得補償制度とは別に緊急的な対策として検討した結果、資金融資をすることが最善の方法であると判断し、事業創出に至った。



## 文教福祉

**問** 休日・夜間急病センターに勤務する医師に対して旅費を増額する理由は。

**答** 医師の配置については、郡山医師会に委託しているが、現在、休日・夜間急病センターの診療に従事する市内の小児科医は不足しており、東京都と千葉県の小児科医に依頼している状況である。

その回数が当初見込みを大きく上回り増額したためである。

**問** 郡山市奨学資金給与条例及び郡山市篤志奨学資金給与条例の一部を改正する条例において、奨学資金給与の金額を1万4千円から1万円に引き下げる根拠と採用基準は。

**答** 現行の金額は、県立高校の授業料相当額と諸経費額を合わせて1万4千円と設定していたが、今年度からの高校授業料無償化等に伴い、保護者の負担が授業料以外にどの程度あるか調査した結果、それらを支援するための金額として1万円と算定し、設定したものである。

採用基準はいままでどおりと考えている。



現地調査(内環状線富田町区間)

平成22年12月定例会

# 市政一般質問

16人の議員が市政について質問しました

※質問順にお知らせします。



創風会  
渡辺 隆弘議員  
通告時間: 60分

地域主権改革における補助金の一括交付金の導入について

**問** 現在進められている地域主権改革の中で、基本的に地方が自由に使える、地方自治体の自由度を拡大する「一括交付金の基本的な考え方」が示されている。  
これからは、本市の独自性、洞察力、企画力が問われるが、

補助金の一括交付金の導入について、当局の見解と対応は。  
**答** 地域資源を最大限に生かした魅力あるまちづくりを進めるため、選択と集中のもと、一括交付金等の有効活用を図り、重点推進分野の事業創出に努めていく。

環太平洋経済連携協定(TPP)に関わって

**問** TPPは、原則として農業分野を含めて貿易を自由化し、関税撤廃を目指すのが特徴と言われている。  
加速化する国際化の流れの中で、本市においても経済連

携と農業政策のバランスをどのようにとっていくのか。

**答** また、政府のTPP参加について、どのように対応するべきか。

**答** 農業の支援を優先的に考え、担い手の育成と生産性の高い農業の確立や地産地消などを総合的に推進するとともに、今後の国の動向を見極めながらさらなる経営基盤の強化に取り組んでいく。

また、TPP参加については、現時点の農業を取り巻く情勢が厳しいことから、慎重に対処すべきであると考えている。

新駅設置について

**問** ライフスタイルの変化や地球環境にも配慮した交通体系の整備が重要になってきているなか、郡山都市圏総合都市交通計画の公共交通マスタープランにおいて、鉄道利用促進の観点から新駅の設置が位置づけられた。  
構想提示から22年、新駅設置にどのような取り組みをしてきたのか。

**答** 福島県鉄道活性化対策協議会を通じ、JR東日本に対し、新駅の設置について要望

活動を継続的に行ってきたが、実現に至っていない。

今後は、郡山市総合都市交通戦略に「郡山駅と安積永盛駅間」、「郡山駅と喜久田駅間」の2駅を重点的な施策として位置づける。特に「郡山駅と喜久田駅間」の新駅の設置について、JR東日本等の関係機関と協議を行い、新年度に新駅設置に係る調査費を予算に計上し、新駅の実現に向け、積極的に取り組む。

掲載以外の質問項目

○都市人口競争について



創風会  
遠藤 義裕議員  
通告時間:30分

**問** 富久山スポーツ広場について

**答** これまで整備してきたスポーツ広場と同様に、ソフト



(仮称)富久山スポーツ広場整備候補地

ボール場2面又はサッカー場1面、及び100台程度収容可能な駐車場が確保できる面積約2万5千㎡を基準としていますが、当該候補地の地形も考慮し、2万7千から2万8千㎡を予定している。

**グループホームについて**

**問** 障がい者の地域生活を支えるグループホームについて、一般の一戸建住宅を利用する場合、県や他市町村は、200㎡以下は一戸建住宅とみなしているが、本市は、建築基準法上規制の厳しい寄宿舎として取り扱っている。

**答** ぬくもりのある障がい者福祉のために、県の指導基準に合わせるべきと思うがどうか。200㎡以下の一戸建住宅について今後は、既存ストックの活用、地域福祉の推進の観点から対応していきたい。

**雨水抑制による内水害対策について**

**問** 東京都墨田区では、各家庭や会社等に補助を出し、雨水タンクを設置してもらい、一時的に雨水を貯めこんで外に流さないという雨水対策を行っている。

**答** 本市でも、雨水タンク購入費の助成をするなど、雨水流出抑制の対策を取り入れるべきと考えるがどうか。雨水の貯留は、雨水の流出を抑制し、浸水被害の軽減に大きな効果がある。このことから、現在、公共下水道整備区域内において、

下水道接続に伴い不用となった浄化槽の雨水貯留槽への転用に補助を行い、貯留槽の増設に努めている。  
今後さらに、雨水流出抑制対策の推進を図るため、雨水タンクの購入や浸透ます設置等への助成について検討していきたい。

掲載以外の質問項目  
○国の「一括交付金」の動きと郡山市の平成23年度予算について  
○各種職員手当の社会的整合性について



社会民主党  
村上 武議員  
通告時間:30分

**問** 買い物弱者解消に向けた取り組みについて

**答** 郡山市商業振興計画に基づき、「一人にやさしい商店街

づくりの推進」に努めているところであり、空き店舗を活用して地域コミュニティサロンとしての機能を設置し、野菜等商店街における不足品の販売を実施する取り組みが始まり、さらに、既存商店などが商品を持ち寄つての共同販売や宅配サービス等の実施が検討されている。

今後とも、商店街はもとより郡山商工会議所、商工会等と連携を図り、買い物弱者の支援に努めていく考えである。

**わがまちの介護保険事業計画の策定について**

**問** 介護保険制度の改定に合わせて、地域事情、市民の要望をふまえた「わがまちの介護保険事業計画」を検討・策定すべきでは。

**答** 平成24年度から26年度までの3か年を期間とする「第五次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画」の策定にあたっては、高齢者を対象としたアンケート調査や地域懇談会等を実施することにより、地域の要望や課題を的確に把握し、広く市民の意見を反映させていく。

**学校の多忙化軽減策について**

**問** 学校内に(仮称)「学校運営業務改善検討委員会」等を設置し、勤務時間の縮減策として、「学校行事や各種会議の精選・縮小」と「斉退勤日の設定」など具体的な改善策が必要と考えるがどうか。

**答** 各学校では、会議の見直しや文書処理データの共有化等により、業務の効率化に取り組み、教材研究の時間や子どもと向き合う時間の確保に努め、学校教職員安全衛生推進会議での情報収集、教員をサポートする人的加配、校長

会との教育懇談会の開催など職場環境の改善を推進している。  
また、部活動・特設クラブ活動に関する第1回意見交換会を開催し、小・中学校長や音楽研究会など関係団体の代表者及び実際に指導にあたっている教諭と教育委員会において、現状と課題について情報を共有し、多忙化軽減に向けて取り組んでいる。





郡山の未来をつくる会  
蛇石 郁子 議員  
通告時間: 15分

労働基準法等の遵守について

**問** 本市の多くの臨時職員・非常勤嘱託職員が妊娠中に産休を取れず退職を余儀なくされており、また、社会保険に加入していたにもかかわらず出産手当を受給できていない。そこで、男女共同参画の推進、少子高齢社会の解消の視点からも労働基準法、男女雇



郡山市議会公明党  
但野 光夫 議員  
通告時間: 30分

6次産業化に取り組む生産者に対する支援について

**問** 農商工観光を一体的に考え6次産業化に取り組む中田ブルーベリークラブなどが、がんばる生産者への支援策は。 **答** 中田町のブルーベリー植栽の支援では、平成19、20年度に県の遊休農地解消の補助事業を活用し、中田町下枝地

用機会均等法に基づき早急には正措置、不利益回復をすべきと考えるが、今後の取り組みは。

**答** 総務省から「臨時・非常勤職員の任用等」に関する具体的な指針が示されていることから、国の非常勤職員との均衡を考慮しながら対応する。

留守家庭児童会(学童保育)の規模について

**問** 国は留守家庭児童会利用児童を平成25年まで30万人増やすとしている。留守家庭児童会の適正規模は40人未満と言われるが、本市では定員60

人の会もあり、さらに、入会希望者も多く、定員を超える会も多いのでは。

**答** 留守家庭児童会は、子どもたちの放課後の居場所づくりと健全育成を目的として整備を進めてきたが、本年10月には、26か所目の放課後児童クラブとして「行健第二小児童クラブ」を開所した。

入会児童の受け入れは、施設の規模や入会状況に応じ、弾力的な運用を行っている。



区の66アールに導入し、栽培指導等を行った。

また、各地域の生産者への支援として、補助事業活用の説明や指導を行い、新規導入作物の場合、土壌分析や土づくりの実証・栽培指導会・農業センターを活用した育苗支援を関係機関とともにやっている。

小中学生の携帯電話によるトラブルについて

**問** 携帯電話でのいじめや事件が多発しているが、本市小中学生の携帯電話によるトラブルはあるのか。

その場合の本人と保護者への対処は。

**答** ブログや掲示板への、中傷や事実と反する書き込みが数件報告されている。

各学校では、事実を確認した場合、ホームページ管理者に削除を要請し、書き込まれた児童生徒及び保護者の心のケアを十分に行うとともに、書き込んだ児童生徒が特定された場合は、本人及び保護者に十分な指導を行い、再発防止を図っている。

防災情報発信の充実について

**問** 市の情報発信は市民との重要なパイプであり、正確さとスピードは大事である。安全・安心なまちづくりに防災メールを含む防災情報発信の充実が必要と考えるが見解は。

**答** 防災行政無線・ふれあいファックス・市ウェブサイトで、災害情報メールマガジン等で防災情報を発信している。災害情報メールマガジンは、本年3月1日から避難情報・土砂災害警戒情報・災害対策本部のお知らせ等の配信を開始し、8月にはQRコードによる登録で利便性を図った。



ビッグツリーページェント

掲載以外の質問項目  
○男女共同参画社会の推進について  
○学校における多忙化解消対策について  
○建設業法違反問題について

## 議会の豆知識②

### ●継続審査とは

会期中に議決されなかった議案について、本会議の議決により、付託された委員会が閉会中に引き続き審査を行うことです。

※関連項目：定例会のあらまし (2ページ)

また、市ウェブサイトでは、気象情報・ライフライン情報・被害に備えた注意点等を提供している。

さらに、総務省消防庁から緊急情報が送信される全国瞬時警報システム(J・アラート)の今年度内整備を予定しており、迅速な情報発信に努める。



### 掲載以外の質問項目

○目的税の使途について  
○税の徴収と相談業務について



日本共産党郡山市議員  
高橋 善治議員  
通告時間:30分

住宅リフォーム助成制度の実施について

**問** 住宅リフォーム助成制度は、実施している自治体では経済波及効果の大きさに高い評価をしている。

わが市の緊急経済対策として実施に値する制度と思うかどうか。

**答** 緊急経済対策として、平成20年度末からの経済情勢の



郡山市議会公明党  
小島 寛子議員  
通告時間:30分

仮称「子ども発達支援センター」について

**問** 郡山市第二次エンゼルプラン後期計画において、発達障がい児への対応が基本方針に示されており、具体的な取り組みを開始すべきと考える。

そこで、現在の希望ヶ丘学園を仮称「子ども発達支援センター」として、子どもの身体的、精神的また社会的な発

悪化に対応し、平成20年度1月補正予算以降現在まで、中小企業融資制度における融資枠の拡大や信用保証料助成制度の充実などの金融対策をはじめとして、生活関連事業などの各種公共事業に約135億6千万円の予算を計上し、切れ目なく事業を実施してきたところである。

今後においても、地域経済の活性化のため、経済状況を見極めながら、住宅リフォーム助成制度を含めた効果的な経済対策事業の実施を検討していく。

高齢者用肺炎球菌ワクチンの助成について

**問** 高齢者の命と健康を守り、結果として医療費を削減する効果も期待できる肺炎球菌予防ワクチン接種に助成をすべきと考えるかどうか。

**答** 高齢者向け肺炎球菌ワクチンは、予防接種法に基づかない任意接種となっており、現在、国の厚生科学審議会予防接種部会において、費用対効果やワクチンの有効性などを評価し、予防接種法への位置づけについて議論していることから、国の動向を注視していく。

土地開発基金の大幅削減について

**問** 土地開発基金は、総額が45億円と条例に定められているが、実際の運用は極めて少なく、市民の税金が有効に活用されていない。

また、平成21年度決算では、当年中活用は9千550万円であることから、積み立てておく必要はないと思う。そこで、条例を改定して大幅な減額を行い、市民に役立つ施策に振り向けるべきと考えるかどうか。  
**答** 土地開発基金は、公共事業に必要な用地を取得の機会

達について総合的な支援ができ、児童デイサービスと相談機能も有する施設として新しく整備する必要があると考えるかどうか。

**答** 希望ヶ丘学園を仮称「子ども発達支援センター」として整備することは、国が現在、障がい者制度の見直しを検討していることから、その動向を注視し、対応していく。

シヨートステイ・トワイライト事業について

**問** 子育て短期支援事業であるシヨートステイ・トワイライト事業は、保護者の疾病、

出産、仕事の出張または夫の暴力などの理由により、家庭での養育が困難になった場合、さらには育児不安や育児疲れなどの場合、一時的に児童を養育・保護できるサービスを提供するものである。

本市においても、他の福祉施設機能とあわせ、このシヨートステイ・トワイライト事業を実施できる施設整備を検討すべきと考えるかどうか。

**答** シヨートステイ・トワイライト事業は、実施を担う入所施設などの社会的資源や人的体制の整備など様々な課題があることから、今後調査研

東山悠苑の待合室等の改修について

**問** 東山悠苑のトイレは和式がほとんどで、障がい者用についても車イス使用に対応するだけである。

待合室も全室が畳敷きであり、高齢者や障がい者に対応できる洋室への改修が、より重要なサービスである。

ユニバーサルデザインの視点を取り入れて、トイレ及び待合室等の施設改修を図るべきと考えるかどうか。  
**答** 施設利用者の利便性向上



東山悠苑

を図るため、施設の改修時期にあわせ、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、利用者の意向を取り入れながら検討していく。

掲載以外の質問項目  
○子育て支援について  
○ひとり親家庭自立支援について



掲載以外の質問項目  
○農業政策について  
○公共交通について

を逃すことなく先行取得するための資金であることから、基金額のあり方については、今後の取得見込みや土地を取り巻く社会状況等を見極めながら、引き続き検討していく。



創風会  
近内 利男議員  
通告時間:30分

緑ヶ丘市民サービスセンターの機能強化について

**問** 緑ヶ丘市民サービスセンターでの取り扱い業務は、住民票や印鑑証明の発行など6項目であり、連絡所の20項目と比較してもはるかに少なく、国民の義務である税金を納める機能もない。  
そこで、人口も増大し高齢化も進んでいることから、連

絡所並みの機能をもたせてはどうか。  
**答** 事務所等のスペースに課題はあるが、地域の皆様が利用しやすいセンターとなるよう取扱事務の拡充について検討していきたい。

花木団地の観光整備について

**問** 東部ニュータウン東側の花木団地は、4月になると様々な花が咲き乱れ、郡山の花見山とも称されているが、就農者は高齢化をむかえ、花木の手入れも困難になってきたと聞いている。

そこで、農業資源と草花の鑑賞という観光資源が混在しているこの地域を活用し、東部地域の振興につなげるべきと考えるがどうか。  
**答** 花木団地は、本市の貴重な観光資源の一つであることから、ハード面の整備とあわせ、観光パンフレットに掲載するなど、地元と一体となりPRに努めてきた。  
また、郡山市観光協会中田支部が中心となり「中田町桃源郷」花木の里づくりを考える会」を発足させ、花木団地を活用した地域振興に取り組んでおり、本市としても、地元

関係団体と連携を図り、支援・協力していきたい。

放置竹林の現状認識と対策について

**問** 竹林の繁殖は、耕作地や山林、道路にまで浸食し、農作物への被害、広葉樹の枯死、交通障害などに影響を及ぼしているが、その現状認識と対策は。  
**答** 孟宗竹を中心とした竹類の侵入を受けた森林が拡大していることは確認している。竹林の管理は所有者が行うものであるが、整備が難しい要因としては、高齢化に加え、

竹材の需要が減少したことによるものと考えている。  
今後は、森林資源の有効活用を検討する中で、製紙原料や燃料など、竹材の有効利用について調査・研究していきたい。

掲載以外の質問項目

- 市民のここからからだの健康増進対策について
- 観光の振興について
- 貸金業法の改正を受けて
- 音楽・文化の振興について
- 「全国高校総合文化祭」への本市の取り組みについて



創風会  
佐藤 政喜議員  
通告時間:30分

戸別所得補償制度の来年度以降の方策について

**問** 政府は、コメの戸別所得補償事業により、主食用米の需給調整が図られ、食料自給率の向上につながるとしているが、米価下落の波をまともに受けた生産現場である農家の声をどのようにとらえ、また、来年度以降のコメの生産をどのように導こうとしているのか。

**答** 水田を基幹とする本市農業においては、農業経営の安定につながる戸別所得補償制度への加入促進を図っていく。米価下落に対応する生産対策としては、土地利用集積などの低コスト化や特産物のブランド化など、農業生産基盤の確立のための各種事業を展開していきたい。

中核市サミットの成果と今後の市政運営への反映について

**問** 中核市の市長等が一堂に会した中核市サミットが開催

されたが、サミットの開催を通し、どのような成果が得られ、今後の市政運営にどのように反映させるのか。  
**答** 「安積開拓の歴史」や本市の特産品、音楽都市郡山などの地域資源を全国にPRする絶好の機会になったことは大きな成果であったと考える。サミットを通して交わされた各市独自の政策や事業の内容は、本市のまちづくりを推進する上で大変参考となることから、新たな事業の創出や事務事業の改善など、今後の市政運営に反映していく。

水源環境保全への取り組みについて

**問** 親子参加による「猪苗代湖の水を守りたい事業」は、キャンセル待ちが出るほど好評であると聞いている。

**答** 市民の猪苗代湖に対する環境意識を高めるためには、親子や市民が気軽に参加できるような息の長い事業展開が望ましく、市民の水道の水源を守るという観点から、希望者全員が参加できるように、きちんと予算をつけて、積極的に水質の保全に取り組むべきではないか。

**問** 来年度以降については、

バスの台数を増やすなど、希望者全員が参加できるように事業の拡充を図っていく。



猪苗代湖の水を守りたい事業





日本共産党郡山市議員  
橋本 憲幸議員  
通告時間:30分

**問** 認可外保育園での幼児死亡という事態の受け止め方について

**答** 平成22年1月8日、市内の認可外保育園において、1歳になったばかりの幼児が死に至るといふ事態が起こった。本来、安心して預けられるはずの保育園で我が子の命が失われている。このようなことがあっては

ならないと思うが、率直な意見を伺う。

**答** 保育施設における安全確保については、これまでも国の指導監督基準に基づき指導してきたが、このような事案が発生したことは、誠に残念なことであると考えている。

**立ち遅れたことも医療費助成について**

**問** 本市においては、こども医療費の無料対象の拡大が図られてはきたが、近隣の自治体と比べ、今や「立ち遅れている」と言わざるを得ない。中学校卒業まで医療費を無

料にすることが、時の声だと思いが、どうか。

**答** こども医療費助成については、平成21年7月から、入院は小学6年生、通院は小学3年生まで対象年齢を拡大し、平成22年度当初予算額は県内一の計上額となつている。

また、こども医療費の助成額が一般会計に占める割合も、県内において上位に位置している。

さらに、他中核市との比較においても、本市のこども医療費助成制度は高い水準にあると認識している。したがって、今後もこうし

**国民健康保険税の引き下げについて**

た他市の動向や、本市の財政状況等を見極めていきたいと考えている。

**問** 景気低迷が続いている今日、国保税の引下げこそが国保加入世帯の切実な要求ではないかと考えるが、どうか。

また、病院窓口負担の軽減についてもどうか。

**答** 本市においては、これまでも資産割の廃止等、被保険者の負担軽減に努めてきた。国保税の税率は、医療費の動向や制度改正等により、大



市民連合  
佐藤 文雄議員  
通告時間:30分

**熱海行政センターの移転に向けた整理状況と今後の見通しについて**

**問** 熱海行政センターの移転は、熱海地区の最大の要望事項であり、今回で6回目の質問である。

施設整備の基本的な考え方は、熱海地区住民の要望も取り入れながらまとめるべきと考ええるが、現在までの整理状

況は。また、移転はいつ頃になる見込みか。

**答** 地域の皆様の安全・安心の確保と利便性の向上に重点をおき、熱海地区にある公共施設の配置や利用状況、地区内の市有地や市の施設敷の利用など、様々な土地利用について、多角的な視点で調査・検討を重ねており、これらをもふまえて検討結果をまとめ、地域の皆様に提示できるように努めていく。

また、センター移転の時期については、用地の選定を含め、施設整備における基本的

な考え方とともに地域の皆様に提示していきたい。

**農作物の被害防止のための取り組みについて**

**問** 有害鳥獣による農作物の被害防止は、住民だけでは限界がある。市も目に見える取り組みが必要と考えるが見解は。

**答** 農作物の被害発生地域では、地元駆除隊による箱わな等による駆除、被害地域の農家へは、県が実施する電気柵やおりなどの利用についての講習会参加を呼びかけるなどの対策を図ってきたが、毎年

発生地域が拡大し、被害が増加傾向にあるため、今後も地元駆除隊と連携し、被害農家へ被害防止策等の情報を発信し、効果的な被害防止に努めていく。

**無料バスチケット（乗車証）について**

**問** 福島市では75歳以上の高齢者に市内全バス路線が対象の無料バスチケット（乗車証）を交付しているが、本市でも高齢者の積極的な社会参加を図るため、無料バスチケットを交付してはどうか。

**答** 無料バスチケット（乗車証）を交付してはどうか。

大きく影響を受けることから、それらを的確に見極めながら判断してゆく。

病院窓口負担の軽減については、今年9月に、国において実施に伴う取り扱い基準が示されたことから、本市においても、今後検討していく。



**掲載以外の質問項目**  
○利用市民へのあたたかい配慮を

証）については、路線バスが運行していない地域があることや市が助成事業を実施する場合には、利用実績等を確認するための専用ICカードが必要であり、また、バス会社の料金システム改修の費用負担が発生するなど課題があるため、本年度策定を予定する「郡山市総合都市交通戦略」をふまえ、引き続き検討していく。

**掲載以外の質問項目**  
○総合的な治水対策について  
○ナラ枯れ被害について  
○地球温暖化対策について



社会民主党  
飛田 義昭議員  
通告時間:30分

平成23年度予算における雇用対策について

**問** 平成23年度予算編成時に雇用対策を重点政策と位置づけ、同時に本市の雇用情勢に即した予算を確保し、積極的な事業の推進にあたるべきと思うがどうか。

**答** 最近の景気動向は、内閣府の11月の月例経済報告において、「景気は、このところ



創風会  
大城 宏之議員  
通告時間:30分

私立幼稚園・保育所にかかる運営の助成について

**問** 昨今「障がい児」と判定しがたい軽度の発達障がいを持つ子どもが増えてきており、幼稚園や保育所が、その対応に大変苦慮していると聞く。子育て環境を整備するため

に創設された「すこやか子育て基金」を活用して、障がいを持つ子どもたちの将来のた

足踏み状態になっており、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。」としており、郡山公共職業安定所管内における10月の有効求人倍率は0.5倍と依然厳しい状況にある。

そこで、平成23年度予算編成方針において、地域経済の活性化や雇用の確保につながる事業に対し、予算の重点配分を行うこととし、引き続き全庁的に新たな事業の創出を図っていく。

企業活動にかかる情報収集について

**問** 経済の発展には魅力ある

めに、幼稚園や保育所に対して、運営に関する助成を検討すべきと考えるがどうか。

**答** 私立幼稚園や認可外保育施設に対しては、本市独自に助成を行っている。心身障がい児支援の助成については、近年、発達障がいの疑いのある子どもが増加傾向にあることから、今後その状況など実態を調査し検討する。

幼稚園・保育所・小学校の情報伝達の仕組みの構築について

**問** 昨年の新型インフルエングザの流行時に、幼稚園や保育

商店街づくりや人を惹きつける施設の建設が望まれるが、郡山に本社のある企業が隣県にスポーツ施設を建設するという報道があった。

そこで、このような企業に関する情報収集に努めるべきと考えるがどうか。

**答** 一般的に企業情報は、個々の企業の経営方針にも係わる事項であることから、企業側からの情報提供や情報収集は、大変難しいと考える。

しかし、迅速な企業情報の収集は、本市の産業振興における施策を展開するうえで有効であることから、商工会議

所や商工会等の市内産業支援機関との連携を密にし、広く全市的な情報収集に努めていく。

ふるさとの森スポーツパーク整備について

**問** ふるさとの森スポーツパークには、既存のソフトボール場があるが、規格が以前のままであり、新規格にあった改修が必要であることから、計画はどのようになっているのか。

また、多目的広場をソフトボール場に整備する計画があるが、進捗状況は。

陸上競技場北側駐車場の月曜日開放について

**問** 本年、リニューアルオープンした開成山野球場は、外野スタンドが開放され、開成山公園と連結した気軽な散歩コースとして市民に人気を博している。

そこで、さらなる市民の利便性を図るため、陸上競技場北側駐車場を月曜日も開放すべきと考えるがどうか。

**答** 陸上競技場北側駐車場は、現在、管理上の課題もあり、総合体育館等体育施設が休場となる月曜日には閉場しているが、野球場周辺の公園

**答** 既存のソフトボール場については、周りが崖地等で囲まれていることから、男子ソフトボールの国際規格に合った改修は、困難である。

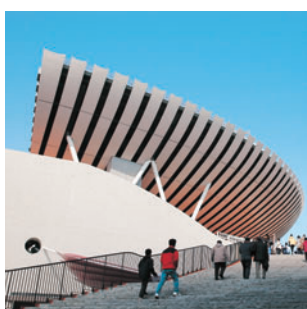
また、多目的広場については、国際規格に合った男子ソフトボール場としても利用できるような整備を計画しており、今年度、関係団体等と連携を図り、実施設計を行っている。



掲載以外の質問項目

○高齢者支援対策について

利用者も増加していることから、さらなる利便性の向上を図るため、今後、月曜日の駐車場開放に向けて検討していく。



開成山野球場

掲載以外の質問項目

○今後の市政運営について  
○教育の諸課題について



創風会  
大内 嘉明議員  
通告時間:30分

**環境美化団体への表彰について**

**問** ごみ集積所周辺の美化運動等を積極的に行っている団体の功績を表彰し、市民の環境に対する意識高揚とごみの減量化や環境浄化を推進すべしと考えるが見解は。  
**答** ごみ出しルールを守り、ごみ集積所の適正管理を行っている町内会等の表彰について



政友会  
太田 忠良議員  
通告時間:30分

**ペDESTリアンデッキの設置について**

**問** 東北新幹線がある郡山駅は多くの人々が利用しており、ペDESTリアンデッキを旧丸井方面へ設置し、歩行者を誘導すれば、人の流れも大きく変わり街は活気がでると考えるがどうか。  
**答** ビッグアイ等の施設と接続するペDESTリアンデッキ

では、市民活動の一層の普及拡大を図り、協働のまちづくりの推進に寄与することを目的とした郡山市市民活動推進顕彰事業である「まちづくりハーモニー賞」等で検討していく。

**保育所の園庭の芝生化について**

**問** 生み育てる地域環境整備として、平成18年6月定例会でも質問したが、保育所の一角に芝生を設け、保育環境を充実させるべきと考えるが見解は。  
**答** 児童の多くが使用する固

を設置しているが、駅舎から旧丸井へのデッキについては、関係者の合意が得られず、設置に至らなかった。  
今後は、旧丸井の跡地利用も含めた関係者の意向をふまえ、必要性や事業効果について、検討していきたい。

**農産物直売所の計画と育成について**

**問** 各市の道の駅や農産物直売所は、数億円から数十億円まで、年々売り上げを伸ばしている。  
本市も日本一の農産物直売所を真剣に計画して、農業活

定遊具周辺などへの芝生の敷設は、安全・安心の観点から有効性が高いと考える。  
現在、モデル的に実施している小山田小学校、喜久田中学校の校庭芝生化の効果及び維持管理にかかる負担、小動物などによる衛生面等の課題を整理し、保育所での試行に向け、検討していく。

**薬物乱用防止の啓発活動について**

**問** 今、覚せい剤等による薬物使用の犯罪が大きな社会問題となり、国の内外で防止への取り組みがされているが、

性化の起爆剤にはどうか。  
また、今後どのような考えで直売所を育成していくのか。  
**答** 市内の農産物直売所は、生産者団体等が開設場所や販売形態、農産物の供給体制を自ら考えて、独自に運営している。新たに直売所を計画する場合、既存の直売所との関係、設置場所や規模の問題など、整理すべき課題があることから、市としては、必要な情報の提供や指導を行ってきたい。

薬物乱用防止の啓発活動はどう行っているのか。  
また、小・中学校、高等学校における「薬物乱用防止教室」の実施実績と参加者数は。

**答** 公共施設等への薬物乱用防止啓発ポスターの掲示、啓発活動資材の市民への貸出し等の啓発を行っている。  
また、平成15年度から小学校5・6年生を対象に、「薬物乱用防止教室」を計画的に実施して、タバコを含めた薬物乱用の恐ろしさを啓発し、平成17年度以降は、中学校や高等学校、大学等においても要望に応じ「薬物乱用防止教

**カルチャーパークへのさらなる誘客について**

**問** カルチャーパークについて、郡山南インター、国道4号バイパスから近いという恵まれた条件を生かし、もっと県内外の観光客を増やす必要があると考えるがどうか。  
**答** 指定管理者である郡山市観光交流振興公社において、県内外の保育所や幼稚園、旅行代理店等にパンフレットを送付するとともに、旅行案内雑誌へ掲載するなど、施設の魅力を発信して、毎年利用者

していききたい。

**掲載以外の質問項目**  
○農業・農政の問題について  
○熱海温泉事業について



室」を開催している。  
昨年度、市が実施した「薬物乱用防止教室」の実施回数と参加者数は、小学校が32回で2千590名、中学校・高等学校・大学等が19回で4千906名、合計51回で7千496名である。



郡山カルチャーパーク

**掲載以外の質問項目**  
○財源確保と補助金について

## 議会の豆知識③

### ●市議会のしくみ

#### ○議員定数とは

市議会を構成する議員の定数は、地方自治法（第91条）で人口に応じて上限が定められています。

郡山市の場合、上限は46人ですが、条例で定数を40人としています。

#### ○議長・副議長の役割

議長・副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。

議長は市議会を代表し、会議を主宰します。

また、議場の秩序を保ち、議事を整理したり、議会の事務を処理するなど多くの権限があります。

副議長は議長が病気などで出席できないとき、議長の代わりを務めます。

#### ○会派とは

会派は、市政についての考えや意見を同じくする議員が集まった集団です。

郡山市議会には、8つの会派があります。（平成23年1月1日現在）

#### ○議会事務局の仕事

議会事務局は、局長を中心として議長の指揮監督を受け、本会議や委員会の運営を補助したり、請願・陳情の受付や議会広報などの事務を行っています。

また、議員の議会活動を助けるため、資料の収集や調査、議会図書室の管理も行っています。

## 会議録をご覧になる方へ

本会議の内容を記録した会議録は、次の施設及びインターネットウェブページで、どなたでも見ることができます。

- 市政情報センター  
（市役所分庁舎1階）
- 中央図書館
- 希望ヶ丘図書館
- 安積図書館
- 富久山図書館

※なお、平成22年12月定例会の会議録をご覧いただけるのは、2月下旬になります。



創風会  
佐藤 健次 議員  
通告時間：50分

**特定環境保全公共下水道への接続の推進と新しい支援策の検討について**

**問** 湖南町においては、猪苗代湖の水質を守るため、特定環境保全公共下水道が整備された。

しかし、平成21年度末の湖南東部地区における接続世帯は54%であることから、今までの普及啓発活動で接続世帯

を増やせるのか。

また、新しい支援策の検討についてはどうか。

**答** 接続率の向上に向けた取り組みは、これまで、臨戸訪問等により、接続勧奨を行ってきたが、景気低迷等の影響により接続が伸び悩んでいるため、引き続き普及啓発活動に取り組んでいく。

また、新しい支援策の検討は、猪苗代湖の水環境保全という観点から、効果的な支援策等を調査研究していく。

湖南町の河川愛護団体への支援について

**問** 市は、地域住民と一体となって河川の環境保全活動を展開できるように検討及び支援することとしているが、どのようにしたのか。

**答** 現在、湖南地区に9団体、約1千100名の方々が猪苗代湖岸や舟津川などの環境美化活動に取り組んでいた。より効率的な活動の支援ができるよう、今年度内に説明会を開催し各団体と協議する。

今後も、猪苗代湖の水環境保全の観点から、地域住民と一体となり、河川愛護活動を実施し、良好な河川環境の創

出に努めていく。

監査委員による監査について

**問** 市税等賦課など特定の事務についても監査の必要があると考えられる。監査対象が膨大である場合は、請求の時効にならない5年サイクルで実施するなどの工夫により実施を検討すべきでは。

また、コンピュータ等を活用した手法も検討すべきでは。  
**答** 市税等は、定期監査において、収入事務の面から監査を行っているものの、賦課事務については、説明の聴取の

みにとどまっている。

今後は、法令遵守等の対応等において、内部けん制作用が有効に機能しているか等を主眼とした専門分野の監査を早急に検討する。

また、コンピュータを活用した監査手法は、物品管理等において実施しているが、より効率的かつ効果的な監査となるよう、先進事例を参考に検討を進めていく。

掲載以外の質問項目  
○「ハード」から「ソフト」へについて  
○観光について

# 常任委員会行政調査レポート

## 総務財政

四日市市の災害要援護者支援活動について、岐阜市の総合交通政策について、多治見市の健全な財政に関する条例について、10月12日から14日まで行政調査を実施しました。

四日市市では、連合自治会単位に各防災協議会が結成されており、阪神・淡路大震災を教訓に、地域を巻き込んだ訓練や啓発として「防災フォーラム」や「防災リーダー養成講座」を取り入れ、地域住民や要援護者への情報提供に取り組んでいました。

岐阜市では、「総合交通政策」を作成し、バス事業者と連携し路線バスの充実を図る一方、コミュニティバスの導入に努めながら、広域的な地域におけるバス路線の確保に取り組んでいました。

多治見市では、計画的な財政運営と事業の取捨選択を進めながら、数値規制等は一切行わず、情報公開や説明責任を果たすため、市独自の財務条例を制定し、財政判断指標を設け市民・議会に提示しな

から健全な財政運営を行っていました。



多治見市行政調査  
(多治見市健全な財政に関する条例について)

## 議会の豆知識④

### ●常任委員会とは

予算・条例などを専門的、かつ効率的に審査するための常設の委員会です。郡山市議会では、総務財政、建設水道、環境経済、文教福祉の4つの常任委員会を設置しており、議員は必ずいずれかの委員会に所属することになっています。委員の任期は2年です。

※関連項目：各常任委員会の審査状況（3ページ）

## 議会の傍聴にお気軽においでください

議会を傍聴することは、市政の運営を知り、皆さんから選ばれた議員の活動状況などを理解する一つの方法です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴することができ、また、お気軽においでください。

### 本会議を傍聴するには

- ・会議当日の開会30分前から、分庁舎7階の傍聴受付で先着順に受け付けます。  
(通常は10時開会)
- ・定員は74人です。
- ・車いすの方、難聴の方の席があります。

### 委員会を傍聴するには

- ・難聴の方のために磁気ルーブリシステムがあります。
- ・団体で傍聴される場合は、住所、氏名を記載した名簿を御持参ください。
- ・会議当日の開会40分前から20分前まで、議会事務局で受け付けます。(通常は10時開会)
- ・各委員会の定員は15人です。傍聴希望者が定員を超えた場合は、受付終了後に抽選を行い、傍聴者を決定します。

### 傍聴の際、御注意いただきたいこと

傍聴受付の際、傍聴券を交付いたします。交付された傍聴券の裏に「傍聴人心得」が記載されていますので、その記載事項を守って傍聴してください。

- ・なお、次のことについては、特に御注意ください。  
・携帯電話は、電源を切るか、マナーモードにして通話等は御遠慮ください。
- ・会議中は、会議の妨げとならないよう静かに傍聴してください。
- ・写真撮影や録音はできません。

#### 本会議

開会30分前から  
分庁舎7階の傍聴受付で。  
定員は74人です。



#### 委員会

開会40分前から20分前まで、  
分庁舎6階議会事務局で。  
各委員会の定員は15人です。

### こおりやま市議会だより 点字版・音声版のお知らせ

「こおりやま市議会だより」の点字版・音声版も発行しておりますので、議会事務局議事務課(☎924-2531)までお問い合わせください。



# 請願書・陳情書の提出はこのように

いつでも、どなたでも、市議会に対して請願・陳情をすることが出来ます。

請願書・陳情書は、次の要領で提出してください。

1 1請願（陳情）に1案件と なっています。

2 請願・陳情書は、A4判の用紙に横書きとし、できるだけ邦文（点字を含む）で提出してください。  
やむを得ず外国語を用いる場合は、訳文も同時に提出願います。

3 文書の記載内容  
○提出年月日  
○請願者（陳情者）の住所（法人の場合には、その所在地）、氏名（法人の場合には、その名称及び代表者名）、押印  
○請願（陳情）の件名  
○請願（陳情）趣旨  
○請願（陳情）事項

4 請願には、必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要です。紹介議員の署名又は記名、押印を受けてください。

なお、陳情の場合は、紹介議員は必要ありません。

5 提出部数は1部です。

なお、道路などに関するものは、現地の略図を添付願います。

6 請願・陳情は議会事務局で常時受け付けていますが、定例会中の審議対象とする請願の受付は、市政一般質問初日の午後5時までです。また、定例会中に議員に陳情書の写しの配付を希望される場合の陳情の受付は、開会日翌日の午後5時までです。

請願・陳情の取り扱いの流れは下記のとおりです。



※詳しくは、議会事務局議事政務課（TEL92412531）までお問い合わせください。

## 請願・陳情の取り扱いの流れ

請願

受理 → 本会議上程 → 委員会付託 → 委員会審査 → 委員会採決 → 本会議採決

陳情

受理 → 陳情書写し（陳情文書表）を各議員に配付

### 陳 情 書

年 月 日

郡山市議会議長  
○○○○ 様

(陳情者住所) ○○○○○○  
(陳情者氏名) ○○○○ 印

(件名) ○○○について

陳情趣旨

陳情事項

### 請 願 書

年 月 日

郡山市議会議長  
○○○○ 様

(請願者住所) ○○○○○○  
(請願者氏名) ○○○○ 印  
紹介議員 ○○○○ 印

(件名) ○○○について

請願趣旨

請願事項

# ウェブサイトのお知らせ

議会をより身近なものとしていただくため、郡山市議会ウェブページを開設しています。下記アドレスを参照の上、ご覧ください。

**郡山市ウェブサイト** <http://www.city.koriyama.fukushima.jp/>



# インターネット議会中継について

郡山市ウェブサイトより、本会議の生中継・録画中継をご覧いただけます。  
 生中継の日程は、16ページの3月定例会開催予定をご参照ください。  
 なお、市政一般質問の議員とその順序は、開会日の7日前に決まり、ウェブサイト上で公開いたします。  
 録画中継は、平成19年6月定例会以降の録画を配信しています。

## 郡山市議会 議会中継

映像をご覧いただくにあたって

- ◆この議会中継（映像及び音声）は郡山市議会の公式記録ではございません。
- ◆録画中継は生中継の4日後（土日休日除く）からご覧頂けます。
- ◆対応OSはWindows98/Me/2000/XP、MAC OS X以降です。
- ◆本システムは、JIS第一・第二水準の文字で構成されています。そのため人名や地名など、会議録等と一部異なる場合があります。
- ◆映像をご覧になるには、Microsoft社のWindows Media Player（無償）が必要です。
- ◆Macintoshで表示する場合、Windowsでの表示のされ方と異なる場合がございます。
- ◆ディスプレイ解像度は 1024×768以上を推奨します。
- ◆フォントサイズは 中 を推奨します。
- ◆フォントサイズの設定はメニューバーの【表示】-【文字のサイズ】で【中】を選択してください。
- ◆メニューバーの【ツール】-【インターネットオプション】-【セキュリティ】-【インターネット】-【レベルカスタマイズ】でアクティブスクリプトが「有効」であることを確認してください。

## 郡山市議会 議会中継



ライブ中継	
開催年	平成22年
定例会	3月 6月
臨時会	2月 10月

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定 (委員長報告から採決まで)
- 第3 議長の報告
- 第4 議案第184号 平成22年度郡山市一般会計補正予算 (第6号)から
- 議案第236号 損害賠償の額を定めることについて (市長の提案理由説明)

発言者	発言内容	映像
1 議長	開会、開議 日程第1 会議録署名議員の指名	議長 00:03:15
発言者	発言内容	映像

生中継はここからお入りください

録画中継をご覧になる方はここをクリック

録画中継はここからお入りください

# 請願・意見書採決結果について

	番 号	件 名	委員会	採決結果	意見書提出先
請	第66号	肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する請願	文教福祉	一部採択 一部不採択	内閣総理大臣、衆議院議長、 参議院議長、財務大臣、 厚生労働大臣、福島県知事
	第67号	患者の窓口負担大幅軽減を求める請願	文教福祉	不採択	——
	第68号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願	文教福祉	採 択	内閣総理大臣、衆議院議長、 参議院議長、財務大臣、 厚生労働大臣
	第69号	中学校卒業まで子どもの医療費無料化年齢引き上げを求める意見書の提出を求める請願	文教福祉	不採択	——
	第70号	子宮頸がん・ヒブ・七価3種の予防ワクチン接種の助成を求める請願	文教福祉	継続審査	——
	第71号	TPP交渉参加反対に関する請願	環境経済	採 択	内閣総理大臣、衆議院議長、 参議院議長、外務大臣、 農林水産大臣、経済産業大臣
	第72号	TPPの参加に反対する請願	環境経済	採 択	内閣総理大臣、衆議院議長、 参議院議長、財務大臣、 厚生労働大臣、経済産業大臣、 環境大臣、農林水産大臣
	第73号	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の提出を求める請願	環境経済	採 択	内閣総理大臣、衆議院議長、 参議院議長、財務大臣、 厚生労働大臣、経済産業大臣、 環境大臣、農林水産大臣
	第74号	無年金者・低年金者に対する「生活支援金」支給と、年金の引き上げを求める意見書の提出を求める請願	総務財政	不採択	——
	第75号	最低保障年金制度の制定を求める意見書の提出を求める請願	総務財政	不採択	——
願	第76号	後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願	総務財政	不採択	——

## 3月定例会開催予定

3月定例会は、2月22日からの予定です。

なお、正式には、定例会初日に決定されるため、変更になることもあります。

2月22日〔火〕	開会	3月4日〔金〕	市政一般質問
23日〔水〕	議案調査(休会) ※陳情締切 (3月定例会配付分)	5日〔土〕	(休会)
24日〔木〕	議案調査(休会)	6日〔日〕	(休会)
25日〔金〕	議案調査(休会)	7日〔月〕	市政一般質問
26日〔土〕	(休会)	8日〔火〕	市政一般質問
27日〔日〕	(休会)	9日〔水〕	常任委員会
28日〔月〕	議案調査(休会)	10日〔木〕	常任委員会
3月1日〔火〕	代表質問	11日〔金〕	事務整理日(休会)
2日〔水〕	代表質問	12日〔土〕	(休会)
3日〔木〕	市政一般質問 ※請願締切 (3月定例会審議分)	13日〔日〕	(休会)
		14日〔月〕	閉会

※ 定例会初日、代表質問日、市政一般質問日、定例会最終日の模様をインターネットで中継いたします。  
また、各行政センターとビッグアイ6階の市民プラザ(月曜日を除く)で放映いたします。